

# れんけいNEWS

Vol.24

発行日：2024年7月



## 第5回北海道医療センター連携登録医大会を開催して

北海道医療センター地域医療連携室長 新野 正明

当院は2013年9月に地域医療支援病院として北海道の承認を受け、地域の医療施設からのご紹介と逆紹介、検査機器の共同利用や開放病床の運用を通して地域と一体となった診療体制構築に取り組んでおり、現在、597施設の医療機関に連携登録をいただいています。このような「れんけいNEWS」などを通じて、当院の活動を広く知っていただくよう努力していますが、やはり顔の見える関係を構築することは非常に大切だと思います。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックのためしばらく開催できなかった連携登録医大会を、昨年、久しぶりに行うことができました。

今年も6月13日にホテルニューオータニイン札幌において、第5回北海道医療センター連携登録医大会を開催させていただきました。今年度ですが、4月より院長、救命部長が交代し、当院も新しい体制となりました。その紹介を兼ねて、まず第一部では、伊東院長より「地域医療を支え期待にこたえる北海道医療センター」をテーマに、今後、当院をどのように運営していくか、そして連携医療機関の皆様とどのような地域医療を展開していくかに関して話していただきました。後半は裕光司救命部長から「札幌市の二次救急医療の現状と、今後の展望」をテーマに、現在の札幌市の救急医療状況から当院の果たすべき役割等に関して紹介していただきました。その後、会場を隣に移して、第二部として懇親会を行いました。今回は、いろいろな方々と気軽に話ができるようにと考え立食形式とさせていただきました。懇親会の途中では、今年特に力を入れる部署や新たなメンバーとなった部署を中心に、婦人科・泌尿器科・精神科・認知症疾患医療センター・診療看護師紹介・総合診療部からテーブルスピーチをしていただきました。当日は63施設、210名と多くのご参加をいただき、会場は所狭しという状況でしたが、当院職員と顔の見える関係、さらには連携登録医療機関の方々の横のつながり・盛り上がりも見受けられました。ご参加いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

今後も年1回、連携登録医大会を開催していく予定ですので、今回の会に関して、改善すべき点、よかった点など、ご意見をいただければ幸いです。また、当院との連携に関しても忌憚なきご意見をいただければと存じます。信頼される医療機関を目指して、これからも「まいにちからまんいちまで」をキャッチフレーズに努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まいにちから、まんいちまで。



# Doctor's Profile 2024年版を送付いたします。 追加のご希望がありましたらご連絡ください。

～医療機器共同利用のお知らせ～

## 北海道医療センター地域医療画像連携システム ▲三角山メディネット▲ (Web検査予約サービス)

- 連携医療機関側の負担はありません。
- 検査紹介元である連携医療機関側に必要な設備は、インターネット回線とパソコンもしくはタブレットのみです。
- 検査後の画像データ、読影レポートは即時オンライン公開され、ダウンロード可能です。

### 連携医療機関様の操作もかんたん



検査が  
おわると



三角山メディネットのお申込み・お問い合わせ・  
地域医療連携室（齋藤）まで  
☎011-611-8116（地域医療連携室直通）

### 独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター地域医療連携室スタッフ

北海道医療センター地域医療連携室は以下のメンバーを中心に運営しております。

院長：伊東 学、地域医療連携室長：新野 正明、地域医療連携室副室長（看護部長）：有馬 祐子

地域医療連携係：齋藤 啓輔、地域医療連携室副看護部長：鈴木 かおり、主任医療社会事業専門員：濱口 晃郎

TEL：011-611-8116（連携室直通）、011-611-8111（代表）、FAX：011-611-8112（連携室直通）

ホームページ：<http://Hokkaido-mc.hosp.go.jp/area/index.html>

